

Security Days Tokyo

サイバー攻撃は、 セキュリティ対策に取り組んでいる企業だけが知っている

認知しなければわからないWeb攻撃の実情と今始める低コストのWebセキュリティ対策

2017.09.27

グローバルビジネス本部 | 日本セキュリティビジネス戦略部門
ゼネラル・マネージャー 陳 貞喜

目次

I. 会社紹介

- 会社概要 [暗号化技術基盤の企業情報セキュリティの専門会社](#)
- グローバルビジネス展開 [日本およびアメリカの現地法人、そしてグローバル・パートナーのネットワーク](#)

II. サイバー攻撃は、セキュリティ対策に取り組んでいる企業だけが知っている

- 99と172
- サイバー攻撃のライフサイクル
- ○○○ホテルで楽しかった？ 事件 [宿泊予約サイトのハッキング事件とその影響](#)
- テストサーバにも例の攻撃は降臨する [Apache Struts2脆弱性を突いた攻撃](#)

III. 企業ITセキュリティの考え方 ビジネスを守る

- 「ビジネスを守る」
- 日本企業の情報セキュリティ取り組み時の3大懸念点
- 企業ITシステムへの脅威の分類
- 各脅威への対策および実情
- 意外と知らないセキュリティにおける誤解
- 情報セキュリティにおける企業側の悩み
- 自社Webサイトを守る、WAFから。

IV. www.cloudbric.jp クラウドブリックとは？

- クラウドブリックとは？

目次

V. Why cloudbric? クラウドブリック・サービスの優位性

- cloudbricを選ぶ理由
- cloudbricを選ぶ理由 ①High Usability : 高ユーザビリティ
- cloudbricを選ぶ理由 ②High Security : 高セキュリティ
- cloudbricを選ぶ理由 ③High Cost Performance : 高コストパフォーマンス
- cloudbricを選ぶ理由 ④High Reliability : 高信頼性

VI. クラウドブリック・サービスの特長

- Point1. 全世界20ヶ所のIDCから選択し企業様独自のWAFサービス環境を構築
- Point2. 簡単・低コストの導入プロセス
- Point 3 . L3・L4・L7のDDos対策
- Point 4 . Let's Encryptの無償SSL証明書提供
- Point 5 . 世界から認めた検出エンジンによる高精度のセキュリティ
- Point6. 直観的なユーザインターフェース提供

VII. クラウドブリック・サービスの利用料金のご案内

- ご利用料金 – 初期導入費用および月額サービス料金
- ご利用料金 – 追加費用等

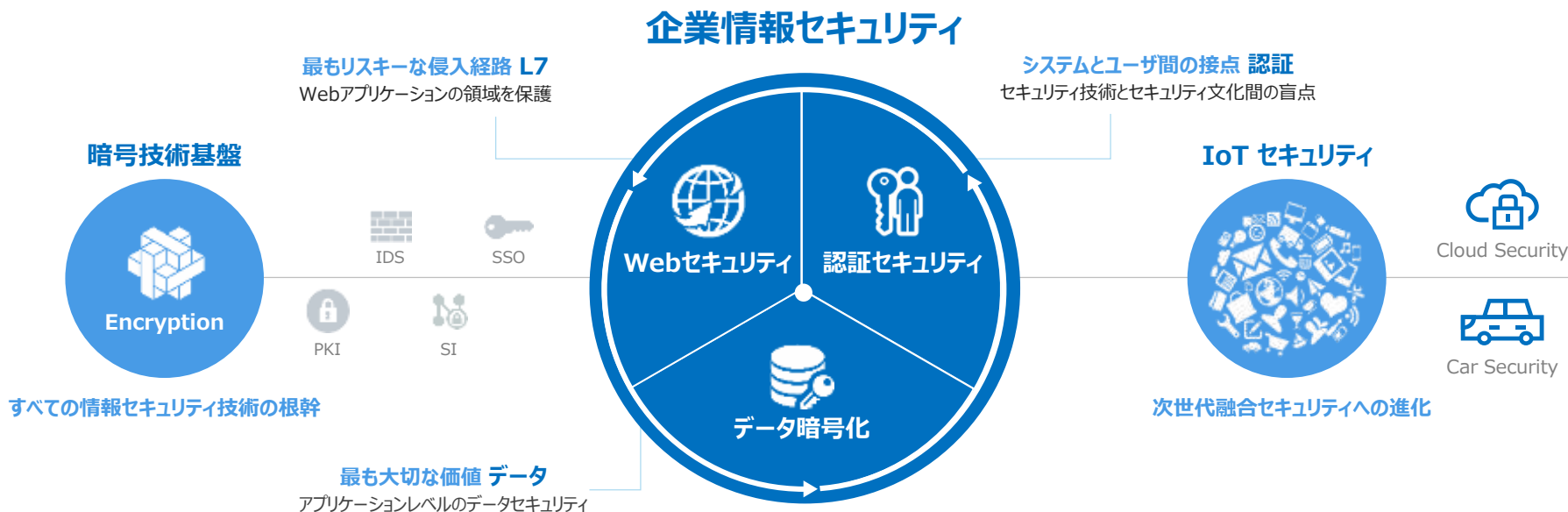
VIII. Cloudbricが実現する低コストのWebセキュリティ対策

会社紹介

会社概要 暗号化技術基盤の企業情報セキュリティの専門会社

PentaSECURITY は、企業情報セキュリティの専門会社です。

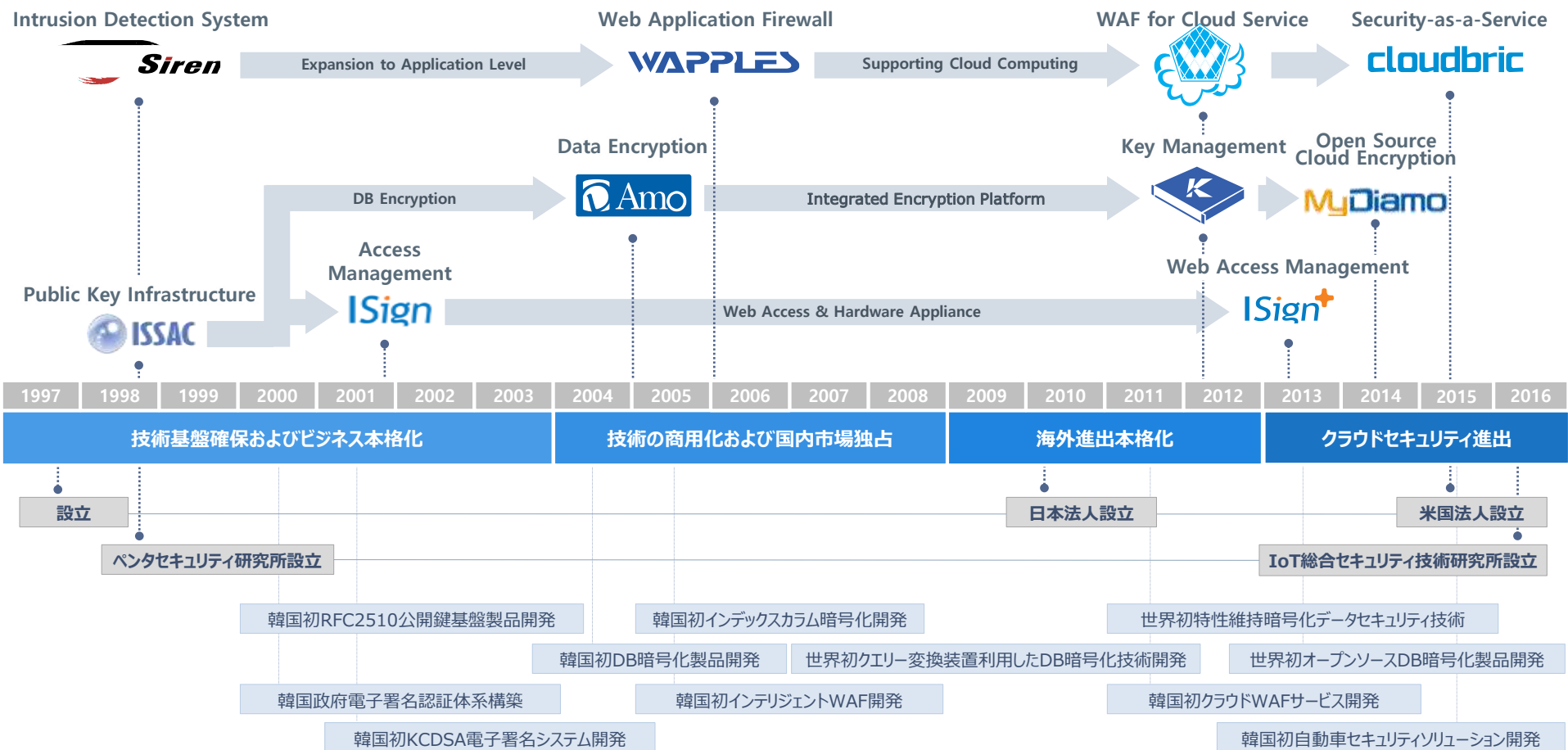
暗号化コア技術基盤に企業情報セキュリティの3つのポイントを実現し、次世代融合セキュリティへ



Company Overview

Founded	1997年 7月	Business Area	データ暗号化/Webセキュリティ/認証セキュリティの企業情報セキュリティ
CEO/Founder	李 錫雨	Client	政府、官公庁、文教、一般企業、金融等3,500カスタマー
Staff	230人 + (研究・開発および技術部門 120人 + 2017年03月基準)	Products	データ暗号化プラットフォーム D'Amo
Located	韓国ソウル		Webセキュリティソリューション WAPPLES
Overseas Branch	日本法人 (東京) / 米国法人 (ヒューストン)		セキュリティ認証管理ソリューション ISign+
Overseas Network	シンガポール、タイ、オーストラリア、ニュージーランド、マレーシア、インドネシア		自動車セキュリティ、IoTセキュリティ等次世代セキュリティ事業

会社概要 暗号化技術基盤の企業情報セキュリティの専門会社



ロセキュリティR&Dセンター

PENSL Penta Security Technology Lab
Asia Pacific No.1 Era Security

DEP

Amo

MyDiamo

WAF

WAPPLES

cloudbric

WAM

ISign+

IoT PICL Penta IoT Convergence Lab
New Era IoT Security



自動車セキュリティ



クラウド・セキュリティ・サービス



セキュリティ・ウェブ・ゲートウェイ



正品認証ソリューション



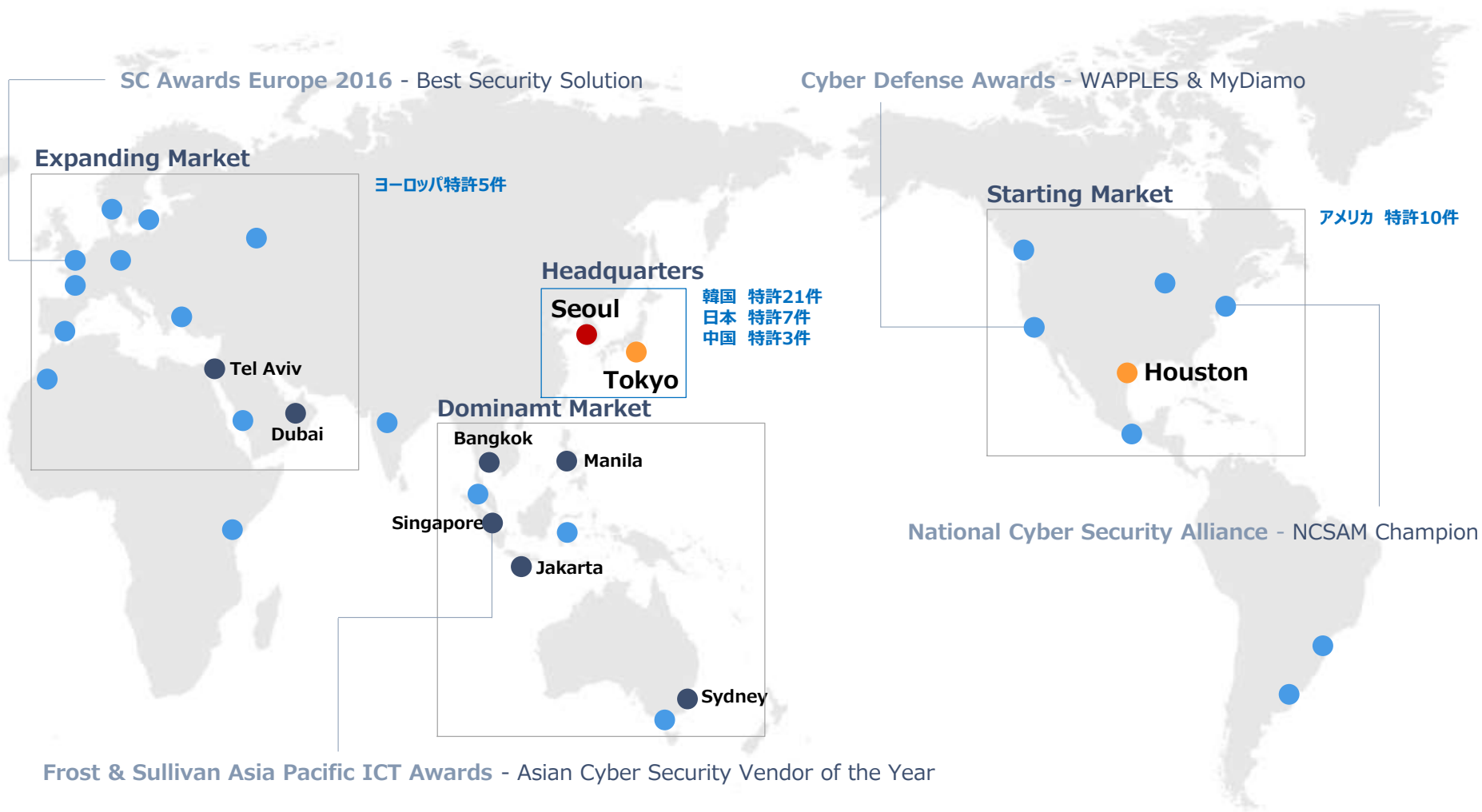
スマートシティ・セキュリティ・インフラ事業



スマートファクトリー・プラントセキュリティ事業

Penta Security

グローバルビジネス展開 日本およびアメリカの現地法人、そしてグローバル・パートナーのネットワーク

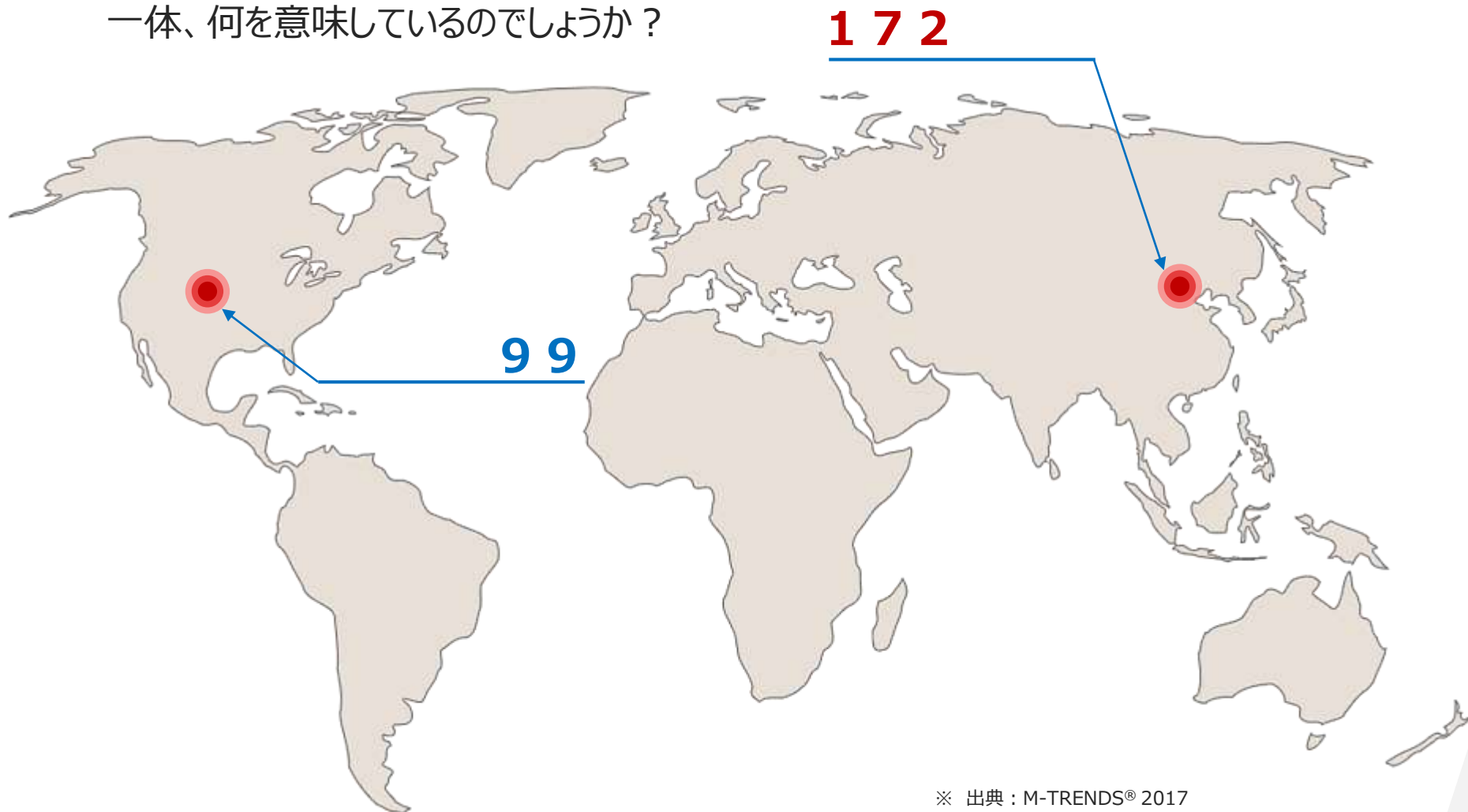


● Headquarters ● Branch Office ● Sales & Services ● Government & Main Customers

**サイバー攻撃は、
セキュリティ対策に取り組んでいる企業だけが知っている**

99と172 (1/2)

... **9 9**と**1 7 2**の数字。
一体、何を意味しているのでしょうか？



※ 出典 : M-TRENDS® 2017

99と172 (2/2)

… 企業側でハッキングの攻撃を認知するまでかかる時間

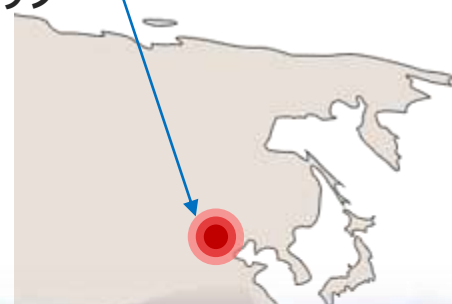
172日

アジア・パシフィック



99日

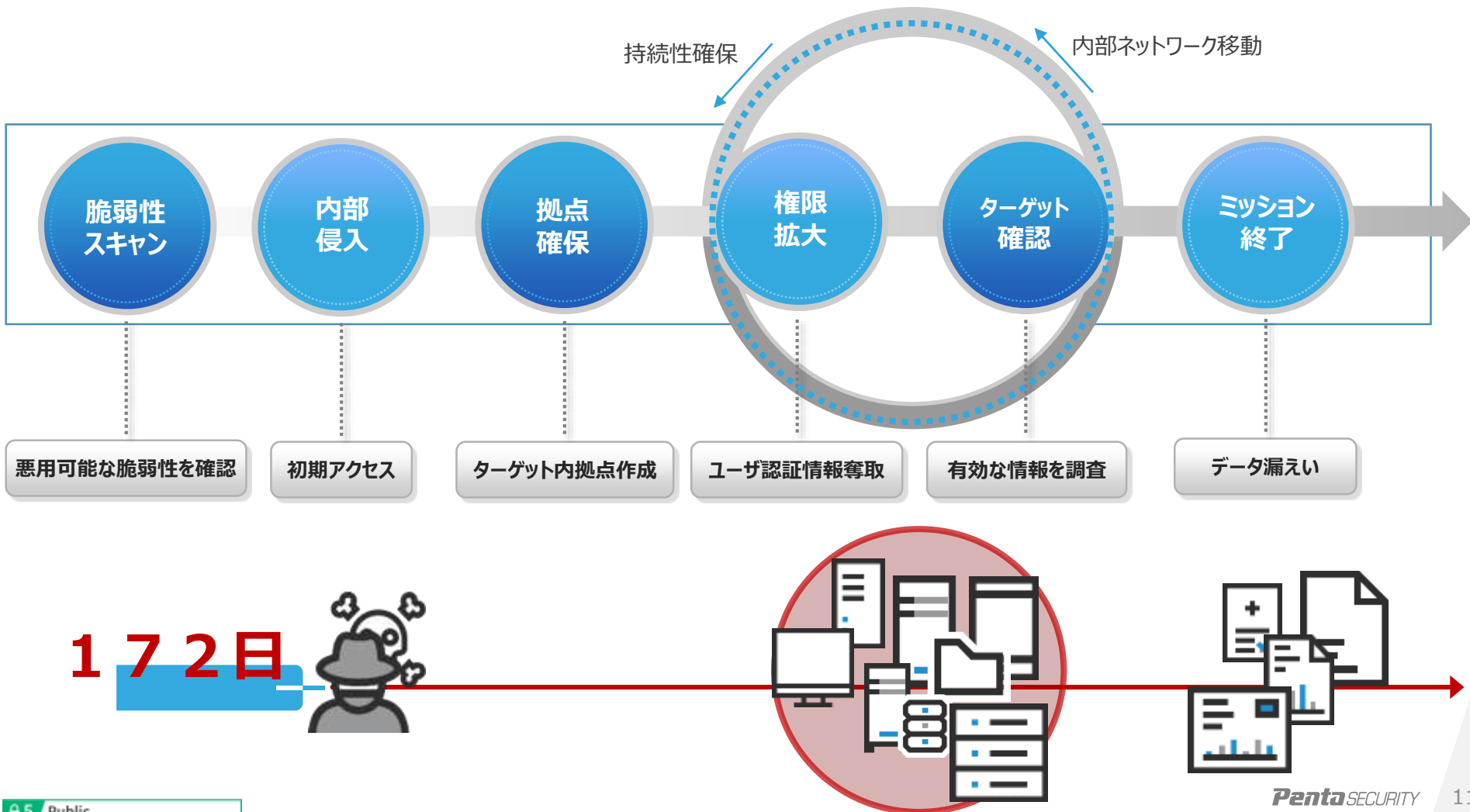
世界平均・アメリカ



※ 出典 : M-TRENDS® 2017

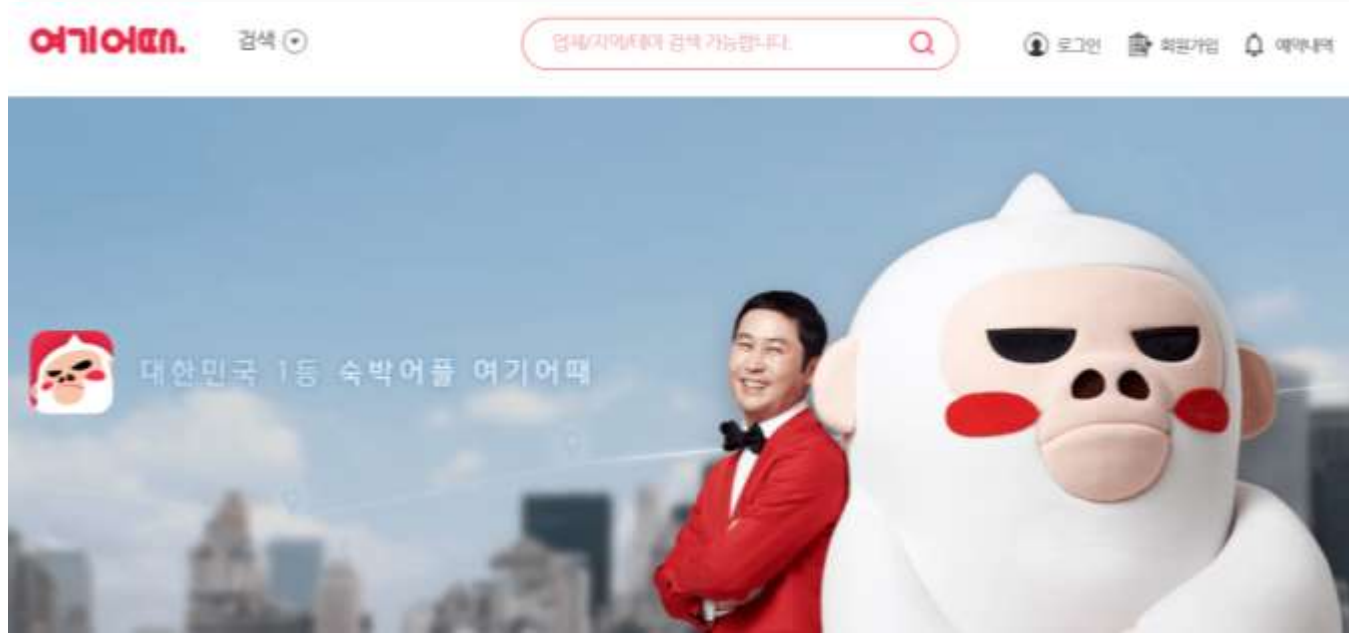
サイバー攻撃のライフサイクル

Cyber Attack Lifecycle



〇〇〇ホテルで楽しかった？ 事件 宿泊予約サイトのハッキング事件とその影響

事件発覚



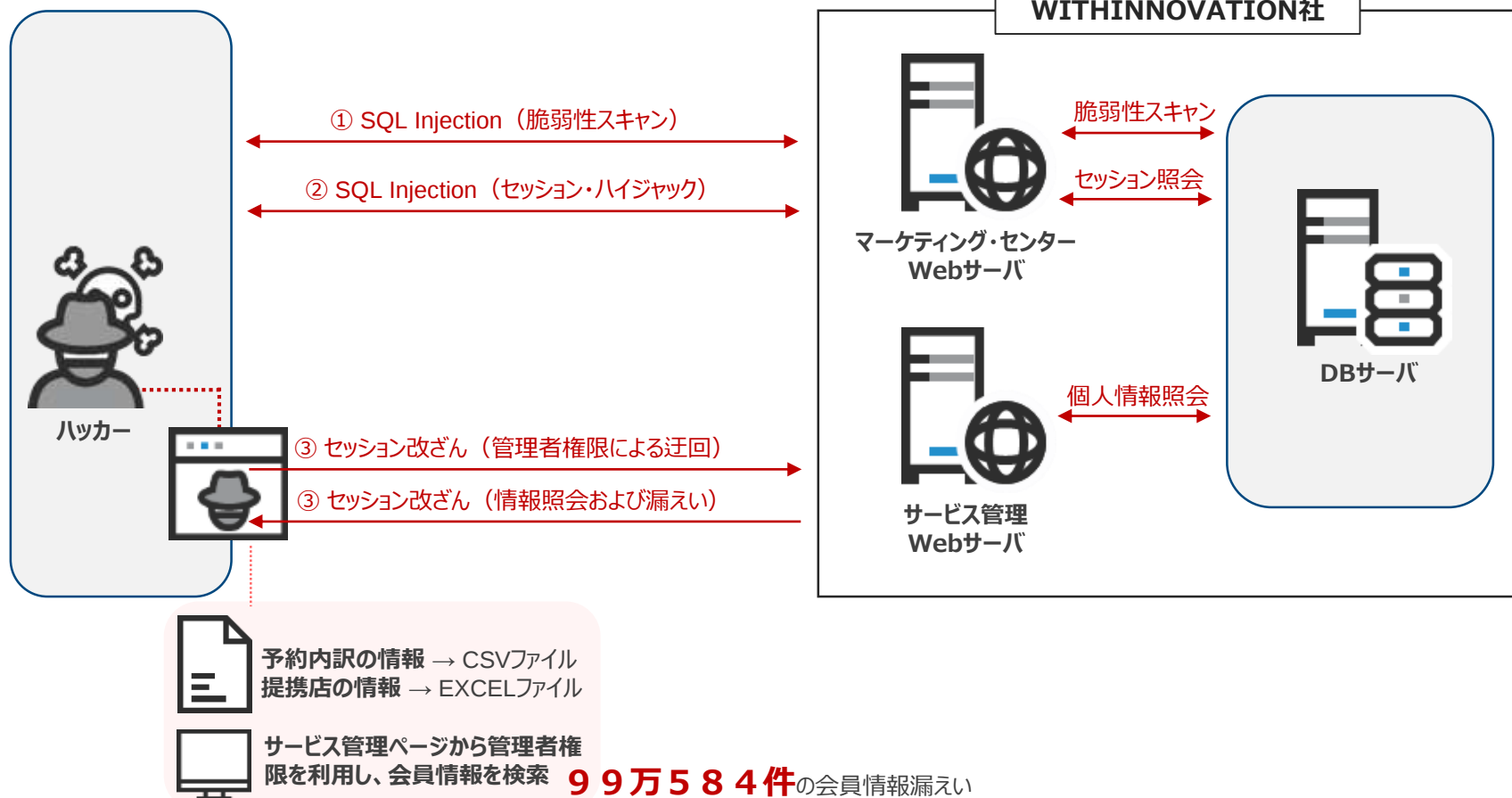
X月X日、〇〇〇ホテルで、
楽しかった？ 全部知っているけど。笑

.....

同宿泊予約サイトをユーザに対し、
合計4,817件の脅迫性・性的メッセージが送られ、事件発覚

〇〇〇ホテルで楽しかった？ 事件 宿泊予約サイトのハッキング事件とその影響

事件後調査および原因



テストサーバにも例の攻撃は降臨する Apache Struts2脆弱性を突いた攻撃

日本事例

GMO-PG、Struts2脆弱性によるクレジット カード情報流出が確定

広田 望 = 日経コンピュータ

2017/04/05

日経コンピュータ

目次一覧

Go 共有 0 ブックマーク 25 Pocket ツイート 保存する

GMOペイメントゲートウェイ（GMO-PG）は2017年4月5日、3月10日にApache Struts2の脆弱性を悪用され「情報漏洩の可能性がある」（GMO-PGのWebページ）としていた個人情報について、「不正に取得されたことが判明した」（同社）と続報を公開した。

GMO PAYMENT GATEWAY

2017年3月9日

GMOペイメントゲートウェイが運営するサイトにてApache Struts2の脆弱性を突いた攻撃により、クレジットカード番号および有効期限、セキュリティコードを含む、個人情報約72万件の漏えいが確認

- 東京都の都税クレジットカードお支払サイト
- 独立行政法人住宅金融支援機構の団体信用生命保険特約料クレジットカード支払いサイト

韓国事例

日本経済新聞

2017年5月27日（土）

Web刊 速報 ビジネスリーダー マーケット テクノロジー アジア スポーツ マネー ライフ 新刊

トップ 東アジア▼ 東南アジア▼ 南アジア▼ オセアニア▼ 中央アジアなど▼ ニュース コラム

アジア > アジアニュース

アジア最新ニュースの掲載を始めました

ロッテがサイバー攻撃被害 THAAD配備で中国が報復？

2017/3/3 1:12

韓国 中国

Twitter Facebook 共有 保存 印刷 その他

【ソウル＝加藤宏一】在韓米軍の地上配備型ミサイル迎撃システム（THAAD）の配備に対する中国の報復とみられる動きが相次いでいる。韓国のロッテ免税店のウェブサイト

Apache Struts2の脆弱性を突き、自動化されたツールを利用し、韓国のWebサイトを改ざん

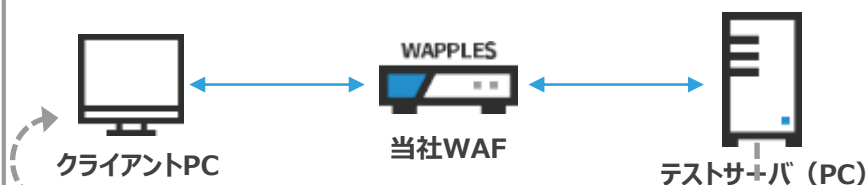


は？！テストサーバに
Struts2の攻撃が来たって？

Struts2の攻撃が来たテスト環境構成

```
graph LR; ClientPC[クライアントPC] <--> WAPPLES[WAPPLES  
当社WAF]; WAPPLES <--> TestServer[テストサーバ (PC)];
```

- WAPPLESの機能検証およびサポート等のため、社内サーバールームに構築されているテスト環境



- WAPPLESの機能検証およびサポート等のため、社内サーバルームに構築されているテスト環境

[illegible]

企業ITセキュリティの考え方 ビジネスを守る

「ビジネスを守る」



サイバー攻撃の高度化・巧妙化

従来型の予防策だけでは脅威から
ビジネスを守ることができない

ビジネス
を守る

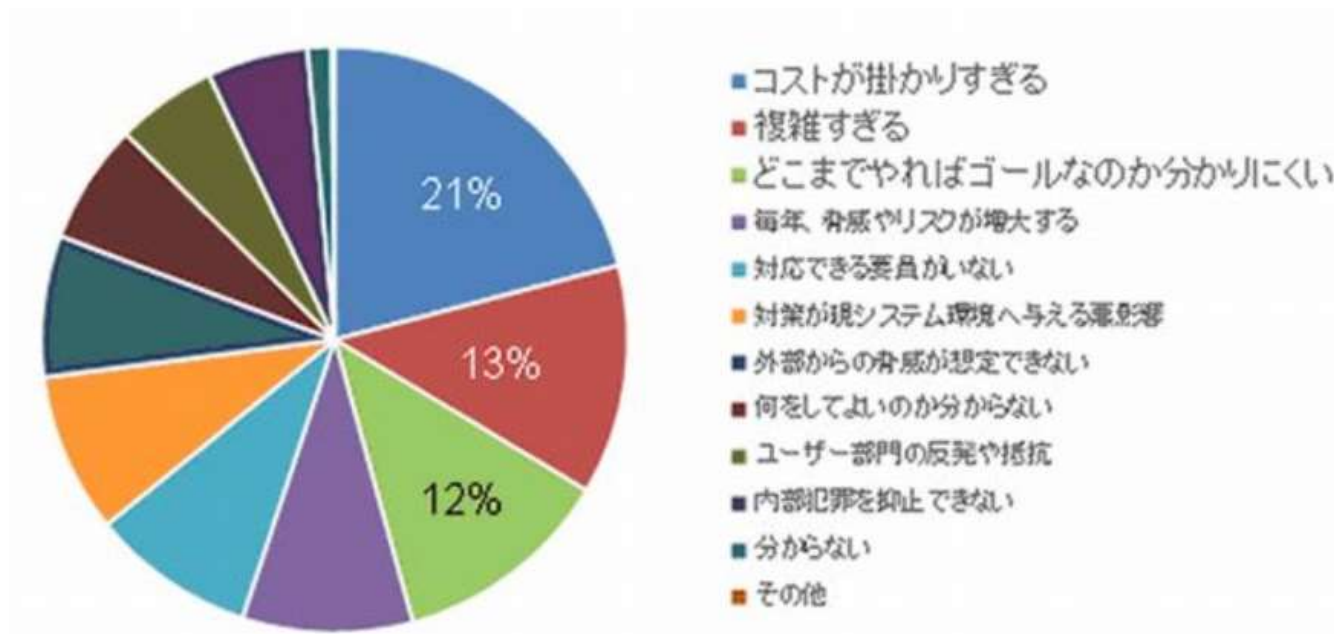
ハッキング
防御

安全な
ITシステム
設計&実装

脅威を完全に
シャットアウトすることは不可能

ビジネス上の優先事項をいかに
保護するか観点が必要

日本企業の情報セキュリティ取り組み時の3大懸念点



セキュリティ 取り組み時 3大懸念点

- 21% コストが掛かりすぎる。
- 13% 複雑すぎる
- 12% どこまでやればゴールなのかわかりにくい

※ 出典：ガートナー・ジャパン 調査結果（2016/07/04）

有効回答数515件（従業員2000人以上 253社、1000～1999人 108社、500～999人 154社）

企業ITシステムへの脅威の分類

第1次攻撃

第1次攻撃

外部から内部に侵入
するための試み

Webを介した
外部からの不正アクセス



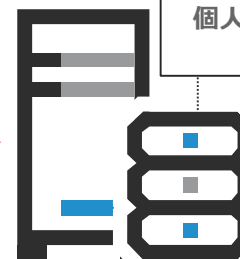
第2次攻撃

第2次攻撃

第1次攻撃による
内部侵入後、
内部システムに対し行う
本格的ハッキング

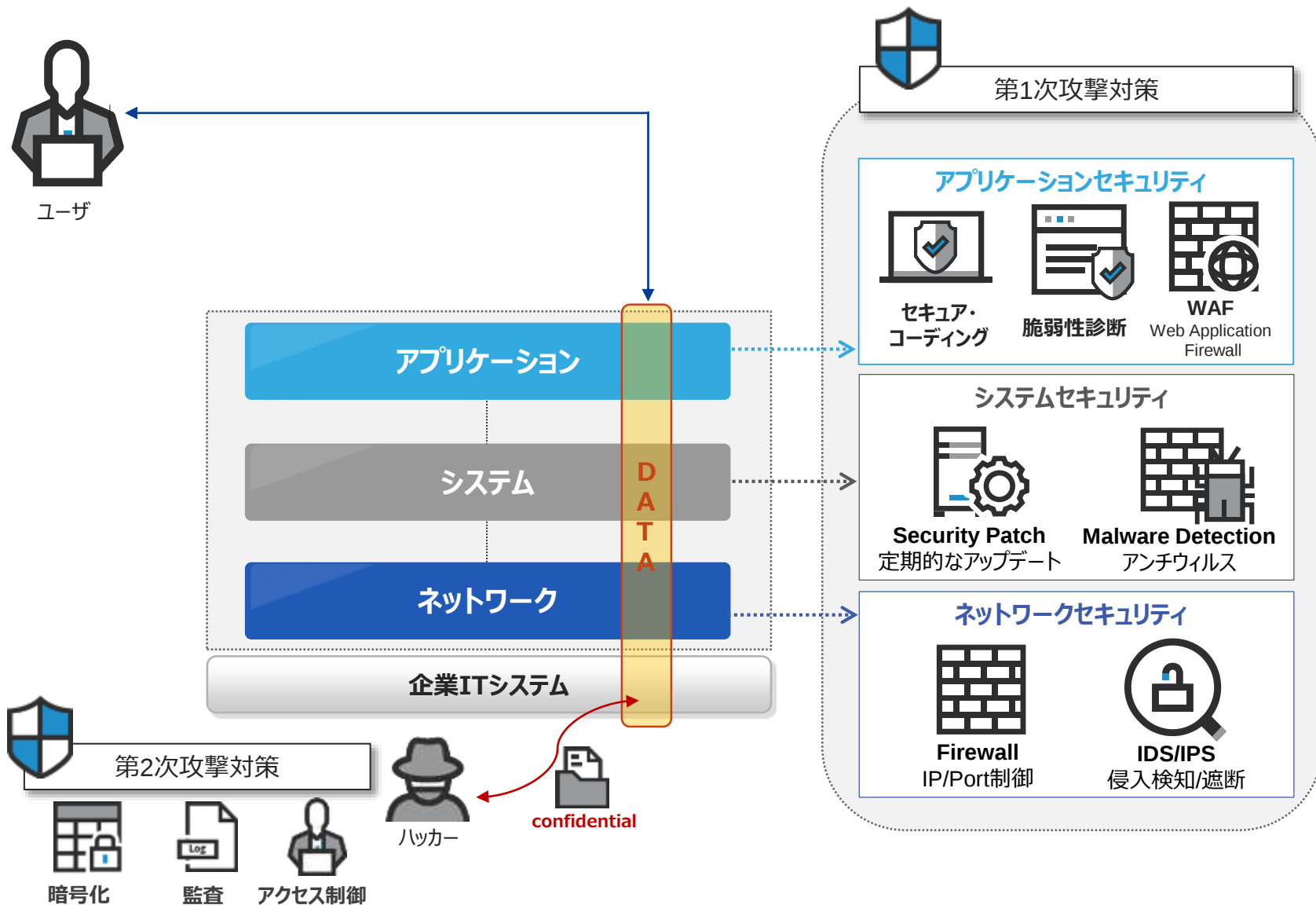
企業システム内部

個人情報・機密情報等
重要データ



DBサーバ

各脅威への対策および実情



意外と知らないセキュリティにおける誤解

Webセキュリティにおける誤解

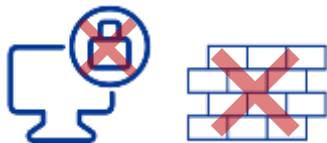
最も脆弱なアプリケーションレイヤー

「セキュリティ
=
アンチウイルス」
でしょう？



- ✓ 殆どの個人ユーザは、セキュリティ=アンチウイルスとする

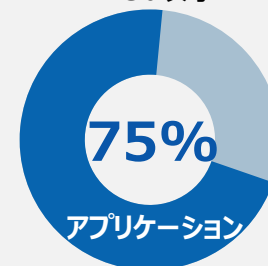
Webセキュリティ
は、普通に
基本提供して
もらえる
ものでしょう？



- ✓ Webサイトの運用者は、Web攻撃を検出し対応してくれている
- ✓ Webコンテンツの制作会社/ Webホスティング会社は、言わなくてもセキュリティは基本提供してくれている



Web攻撃



Webアプリケーション
を対象とした攻撃で
ありながら、セキュリ
ティのためのコストは
10%に過ぎない

- Gartner -

75% of attacks target the
web application layer. - Gartner -

情報セキュリティにおける企業側の悩み

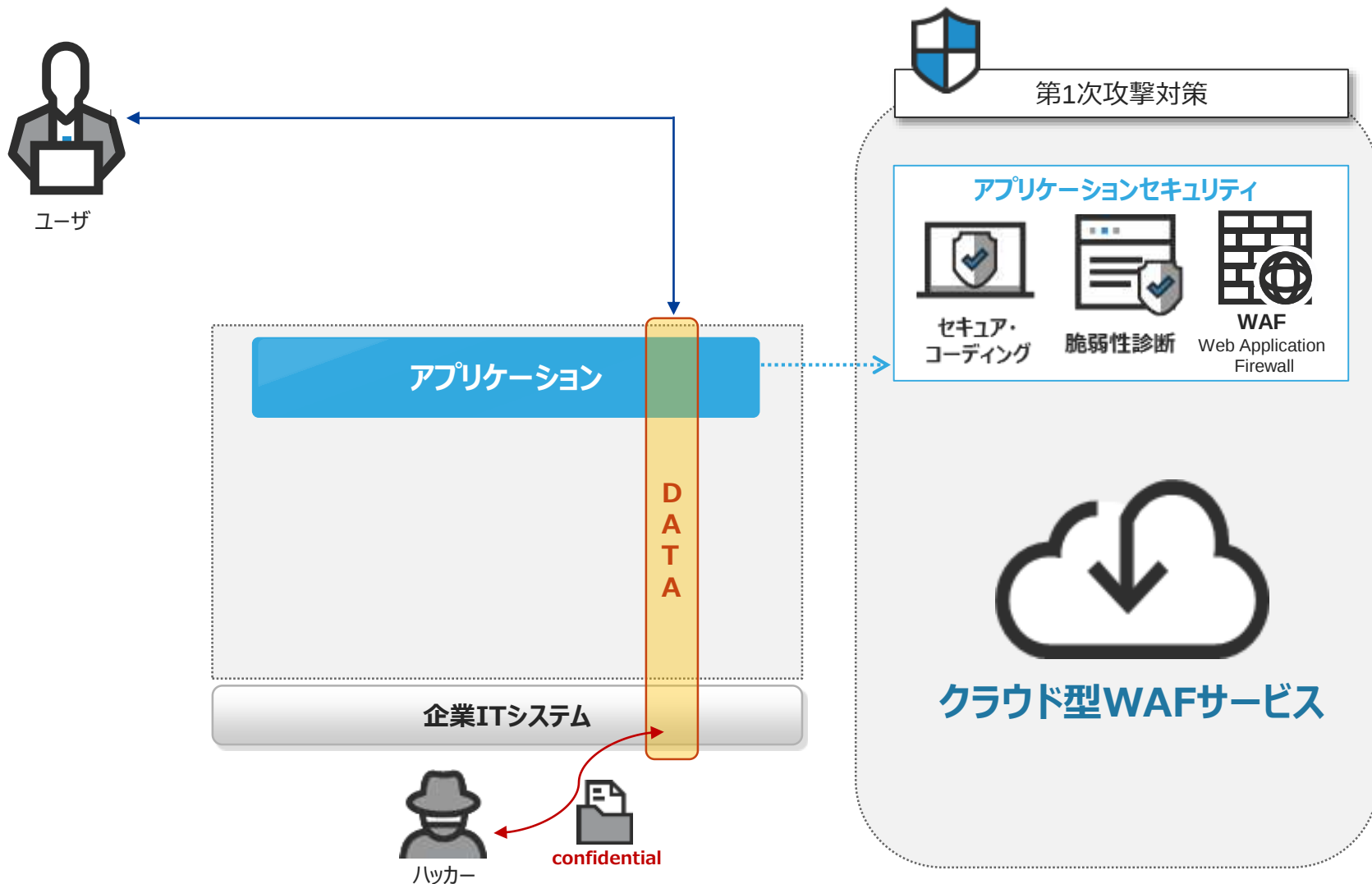
●複雑

●費用対効果

●専門家の不在



自社Webサイトを守る、WAFから。



www.cloudbric.jp
クラウドブリックとは？

クラウドブリックとは？

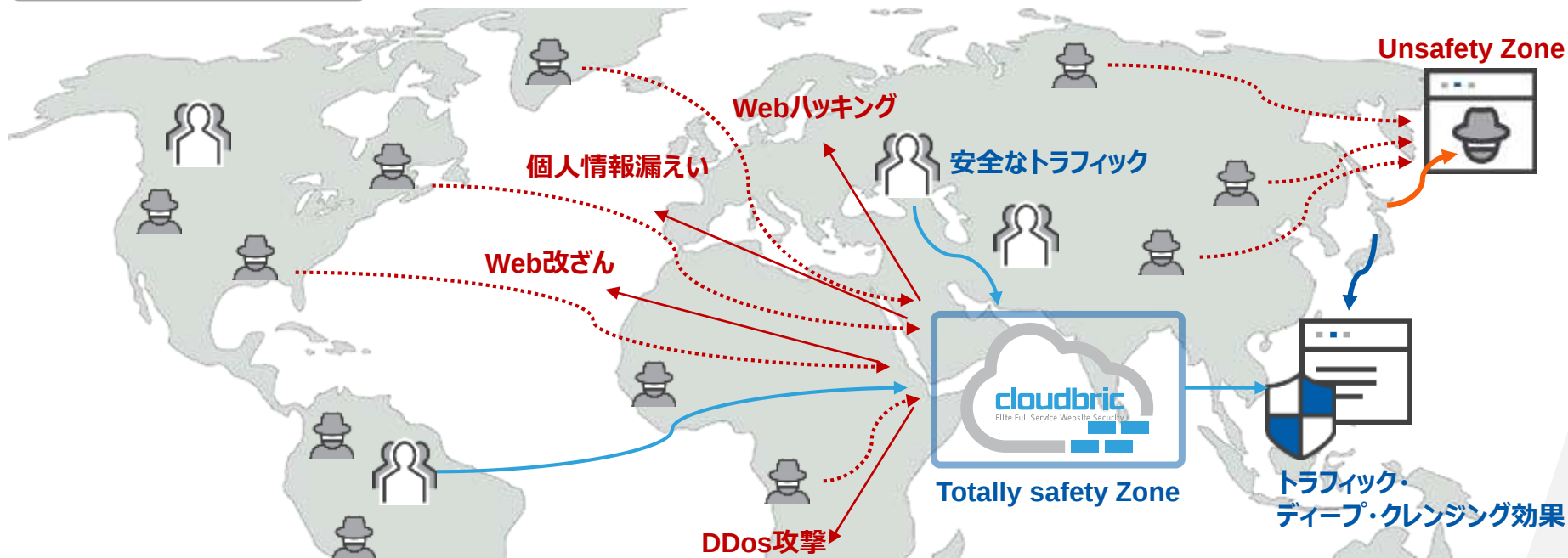


クラウドブリック (cloudbric)は、様々なサイバー攻撃からWebサイトを安全にするクラウド型Webアプリケーションファイアウォールです。高セキュリティレベルの確保とリーズナブルな料金で簡単導入を両立できます。

世界の専門家達が認めたグローバル・スタンダード



- SC Awards 2016 Europe「The WINNER in BEST SME SECURITY SOLUTION」を受賞
- Cyber Defense Magazine Awards「The Hot Company in Web Application Security for 2016」を受賞
- Frost & Sullivan Asia Pacific ICT Awards「Asian Cyber Security Vendor of the Year」を受賞
- National Cyber Security Alliance - NCSAM Champion
- Frost & Sullivan選定、アジア・パシフィック地域WAFマーケットシェアNo1

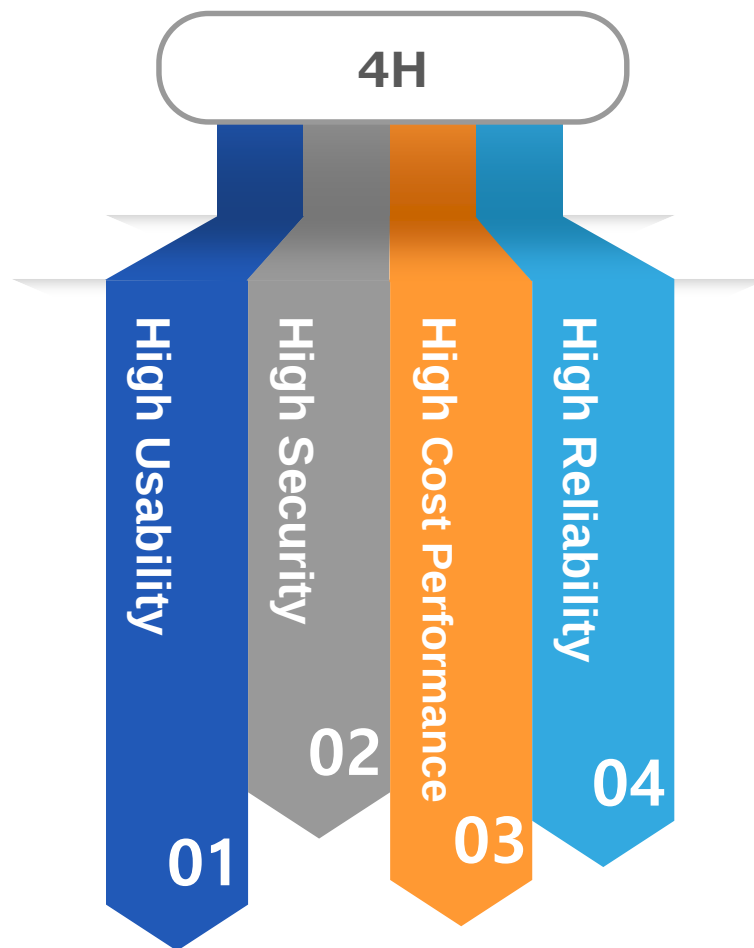


Why cloudbric?

クラウドブリック・サービスの優位性

クラウドブリックを選ぶ理由

...クラウド型WAFを選ぶ基準。

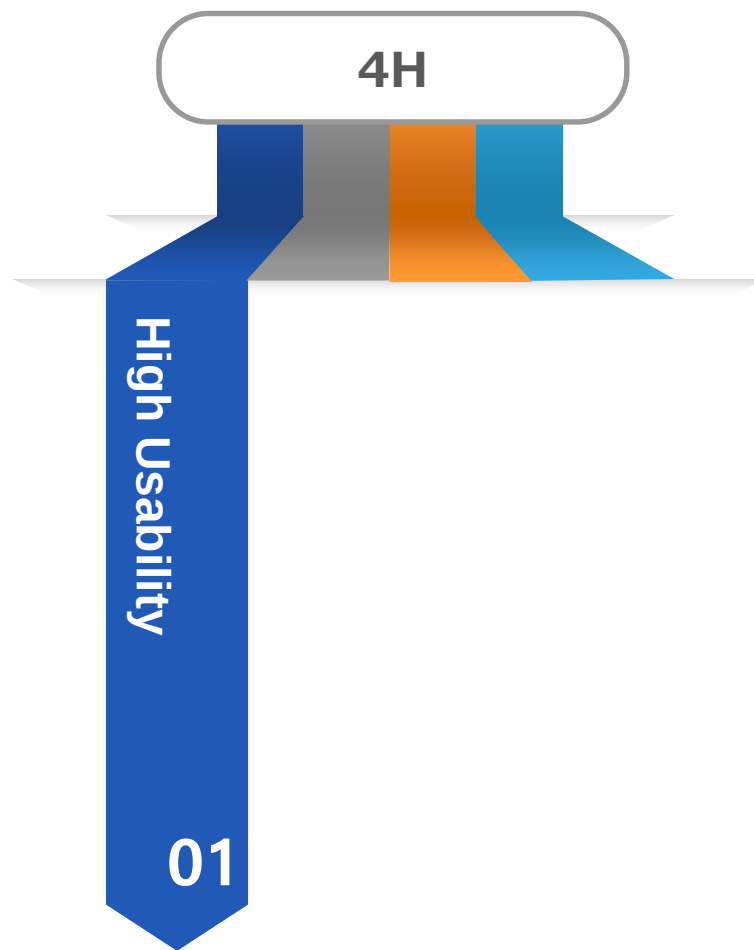


クラウドブリックを選ぶ理由 ①High Usability : 高ユーザビリティ

01 High Usability : 高ユーザビリティ



cloudbriticは、Webコンソールにて直観的なグラフィックスによるセキュリティ管理状況を提示致します。**セキュリティの専門家ではないお客様の目線にあわせて分かりやすく、高度なセキュリティを説明致します。**インターネットが使える環境なら、いつでもどこでも自社のWebサイトの**セキュリティ管理状況をご確認**できます。

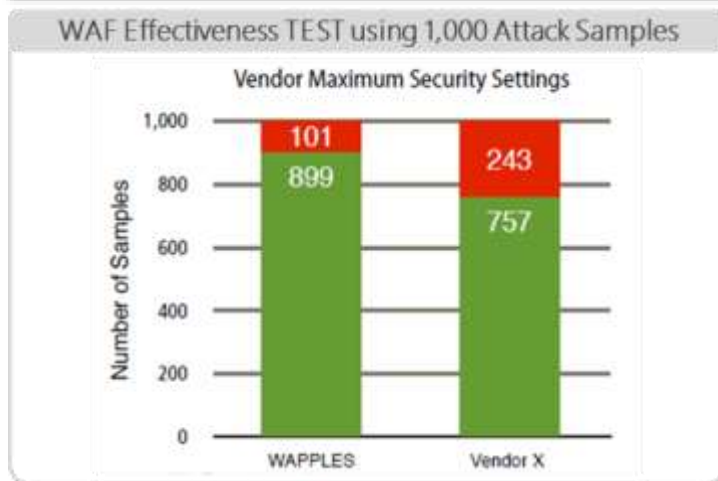
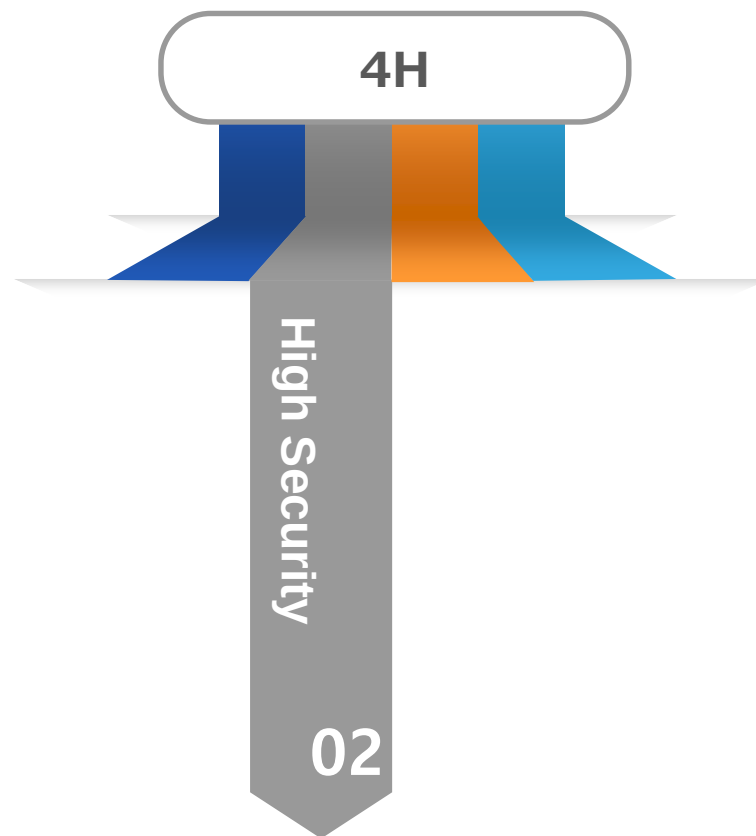


クラウドブリックを選ぶ理由 ②High Security : 高セキュリティ

02 High Security : 高セキュリティ

cloudbricは、シグネチャーベースの従来型WAFとは異なり、4ヶ国にて特許※1を取得した自社開発のロジックベースの解析エンジンを搭載、偽陽性（false positive）および偽陰性（false negative）を最小限に抑えられた精度の高い攻撃検出を実現致します。頻繁な攻撃パターンの更新を伴い、新種・亜種のゼロデー攻撃に対応できない従来型WAFの根源的な問題を解消したインテリジェントWAFサービスを提供致します。

※1 韓国、日本、米国、中国にて特許を取得
（日本特許：ウェブアプリケーション攻撃の検知方法 登録番号-4977888）



テスト結果	WAPPLES	X社
攻撃検出率	89.9%	75.7%
誤検知率	4%	29%

#214147
December 2014

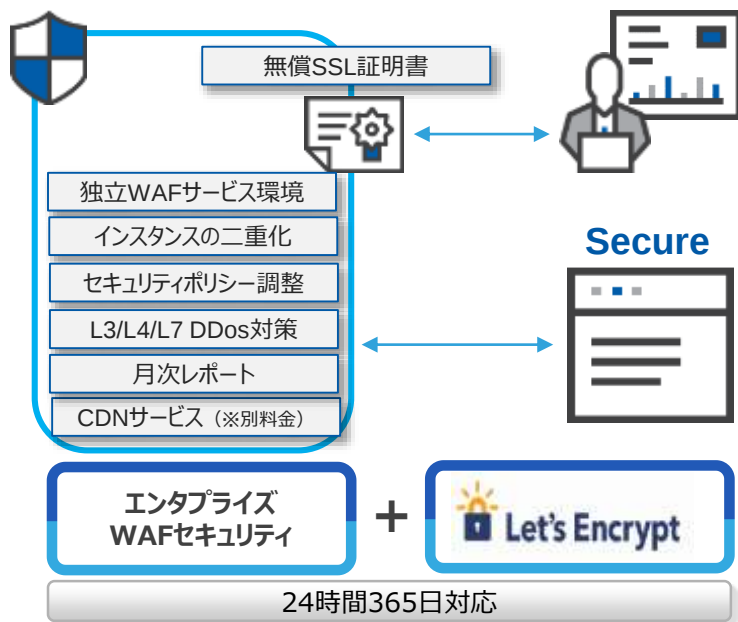
WAF Test Report by Tolly Group
(2014, USA)

クラウドブリックを選ぶ理由 ③High Cost Performance : 高コストパフォーマンス

03 High Cost Performance : 高コストパフォーマンス

cloudbricは、リーズナブルな価格で簡単に始められるクラウド型WAFでありながら、**アプライアンス型WAFで提供するエンタープライズ・セキュリティを実現**致します。
お客様別専用の独立したサービス環境を構築し、カスタマイズされたセキュリティポリシーで運用が可能であり、**Web対策+DDos対策+無償SSL証明書※1**を月額サービス料金でご利用頂けます。

※1 Let's Encryptの証明書を自動で発行致します。



クラウドブリックを選ぶ理由 ④High Reliability : 高信頼性

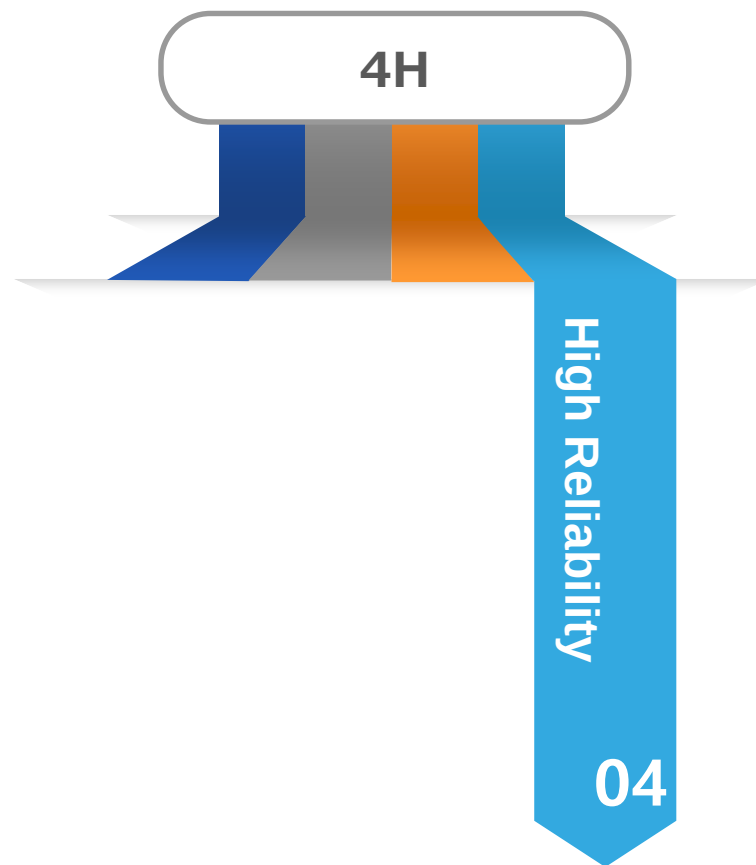
04 High Reliability : 高信頼性



適用技術	COCEP(Contents Classification and Evaluation Processing)技術
攻撃検出コンセプト	従来型のパターンマッチング(シグネチャーベース)の方式とは異なる論理演算型解析エンジンによる対応
国際認証	- 韓国・日本・中国・米国にて検出技術の特許取得 - 国際承認アレンジメント (CCRA) 最高レベルのEAL4取得 - ICSA Labs WAF Certification取得 - PCI-DSS v3.1適合証明 (ICSA Labs) - 米Tolly GroupによるWAF Test にて攻撃検出率証明

cloudblicは、**20年間世界17ヶ国のユーザ**より支持されているWAPPLES^{※1}のWeb攻撃解析エンジンを搭載し、長年証明された技術による、**WAF管理者の知識に依存しない**、検出ロジックにて高度なセキュリティを、**24時間・365日**提供致します。
2014年リリース以来グローバルの**3,200以上のユーザ**よりご利用頂いています。

※1 「WAPPLES(ワップル)」は、ペンタセキュリティシステムズ株式会社による開発されたWebアプリケーションファイアウォールであり、FROST & SULLIVAN社選定、第13回アジア・パシフィックICTアワードで2016の最高のセキュリティベンダーに選ばれ、Frost IQ (Industry Quotient) にてマーケットシェアNo1認定



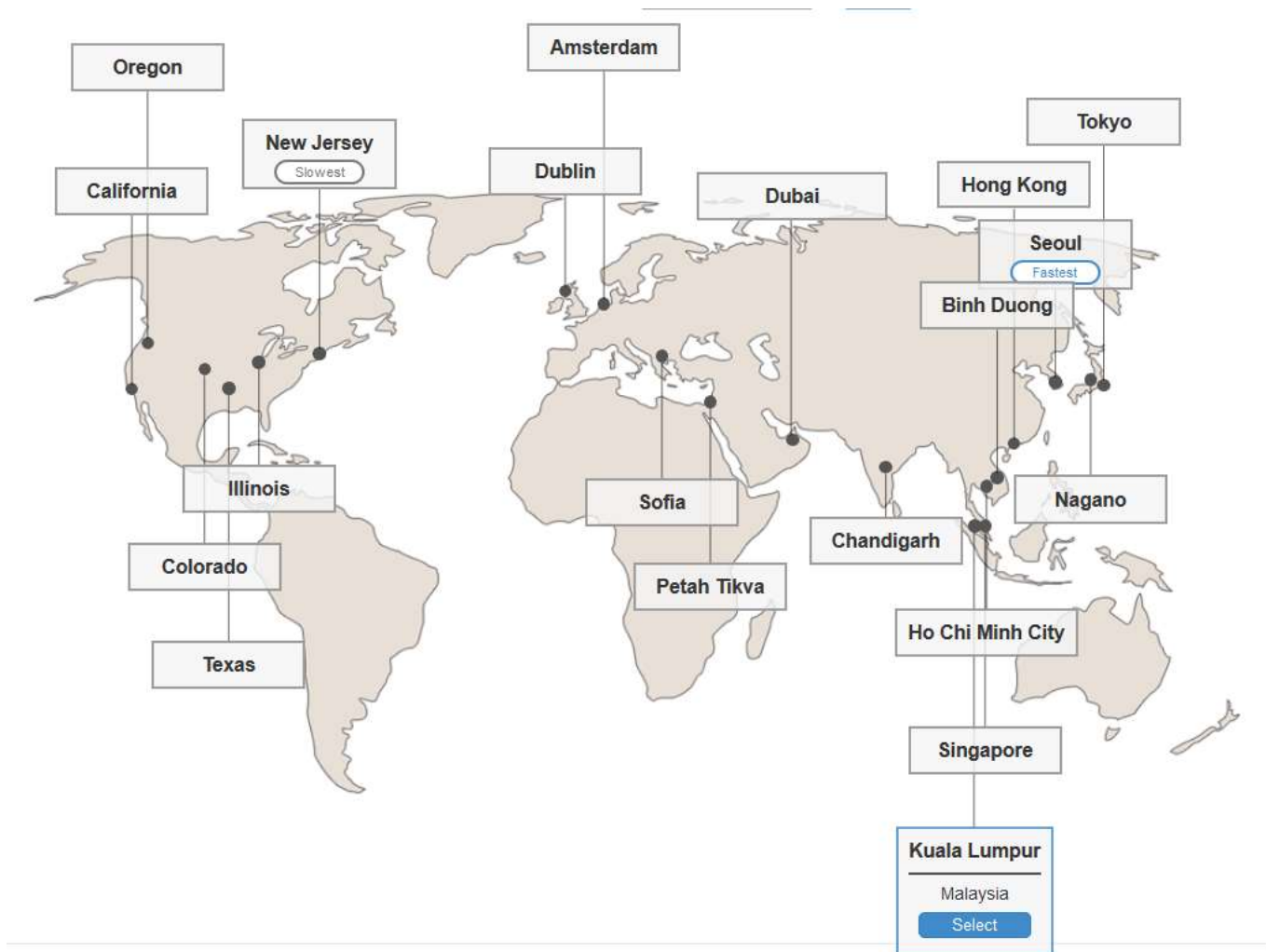
<グローバル専門家による評価 (受賞歴)>

- ・SC Awards 2016 Europe「The WINNER in BEST SME SECURITY SOLUTION」を受賞
- ・Cyber Defense Magazine Awards「The Hot Company in Web Application Security for 2016」を受賞
- ・Frost & Sullivan Asia Pacific ICT Awards「Asian Cyber Security Vendor of the Year」を受賞
- ・Frost & Sullivan選定、アジア・パシフィック地域WAFマーケットシェアNo1

クラウドブリック・サービスの特長

Point1. 全世界20ヶ所のIDCから選択し企業様独自のWAFサービス環境を構築

クラウドブリックは、保護対象として登録する際に、最も遅延の少ないIDCを自動でサーチし、推奨致します。又は企業様ご指摘のエリアのリージョンをご選び頂き、完全に独立されたWAF環境をご利用頂けます。



Point2. 簡単・低コストの導入プロセス

クラウドブリックは、難しいコーディング、手間取るダウンロードおよびインストール、高コストのハードウェアは必要ありません。管理画面閲覧のためのアカウント生成、保護対象登録、DNS変更の3 Stepで最も分かりやすく直観的サービスを提供致します。



Point 3 . L3・L4・L7のDDos対策

クラウドブリックは、L3とL4のDDos攻撃をはじめ、巧妙化しているマルチベクトル型攻撃、アプリケーション（L7）Dos攻撃等様々なパターンのDDos攻撃に対策を提供致します。



対応する Dos/DDos攻撃

- TCP SYN Floods
- TCP FIN Floods
- TCP RST Floods
- HTTP GET Floods
- HTTP Post Floods
- HTTP XMLRPC PingBack attacks
- TCP Fragment attacks
- Slowloris
- TCP Syn Spoofed
- ICMP Floods

- HTTP HEAD Floods
- Brute Force
- TCP Ack Floods
- Ping of Death
- DNS NXDomain Floods
- HTTP Cache Control
- HTTP SSL Saturation
- Amplified DNS DDoS
- RUDY
- Smurf, As well as other attacks 等

Point 4 . Let's Encryptの無償SSL証明書提供

クラウドブリックは、Let's Encryptの無償SSL証明書を提供することで、まだSSL証明書を採用されていない企業さまやポリシー上証明書のエクスポートができない企業さま等のお悩みにお答えいたします。

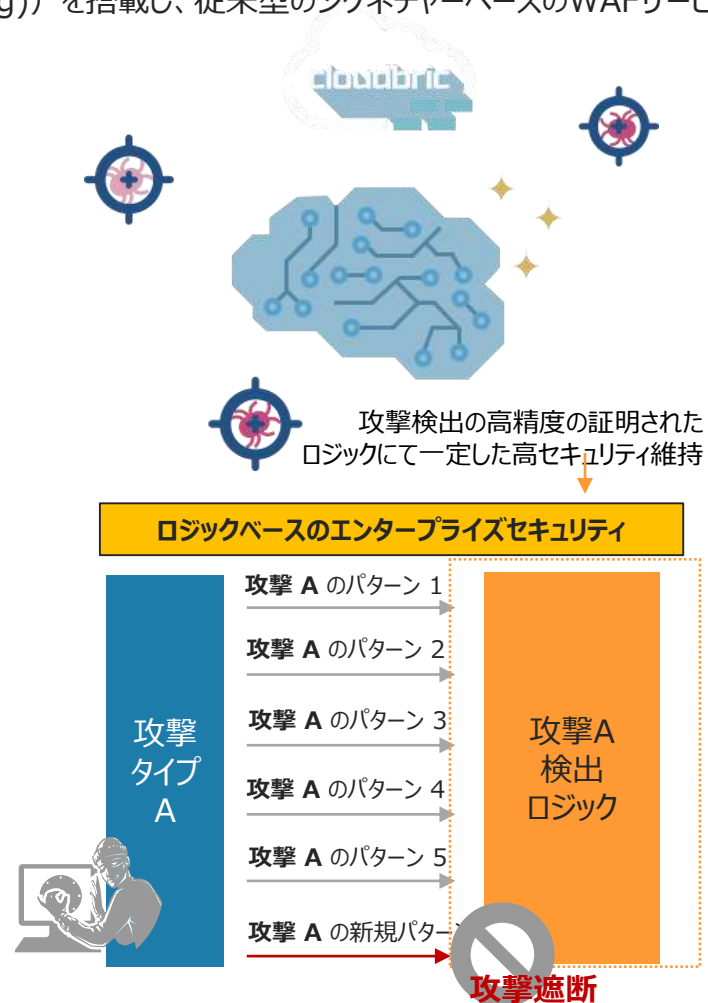
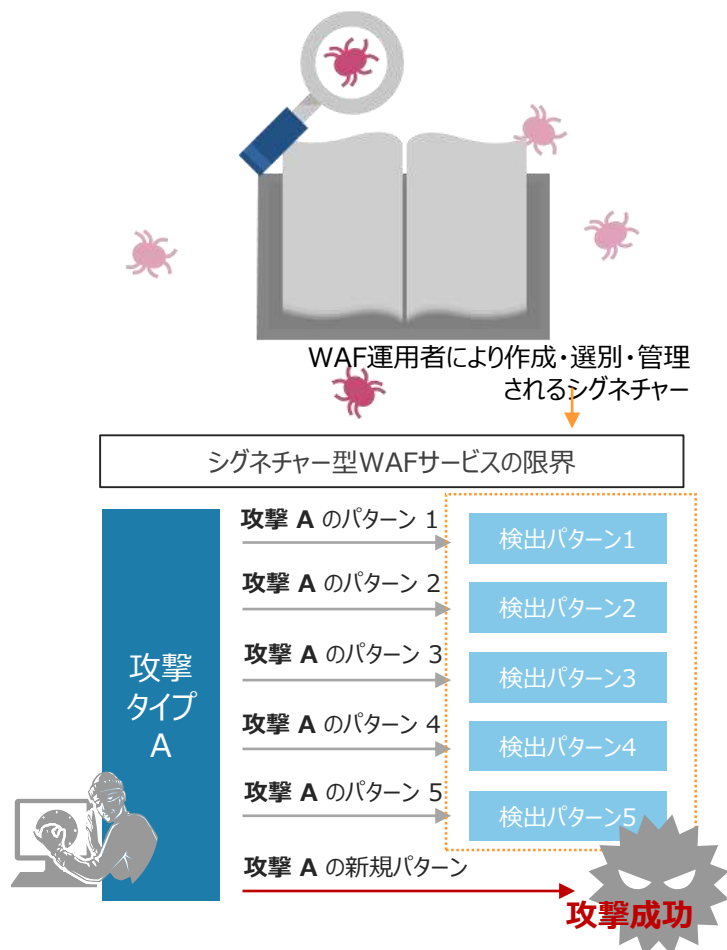


WAFサービス + SSL証明書サービス



Point 5. 世界から認めた検出エンジンによる高精度のセキュリティ（1/2）

クラウドブリックは、韓国・日本・米国・中国の4ヶ国で特許を取得した自社独自開発した論理演算型解析エンジン（COCEP(Contents Classification and Evaluation Processing)）を搭載し、従来型のシグネチャーベースのWAFサービスの限界を克服し、高精度のセキュリティを提供致します。



Point5. 世界から認めた検出エンジンによる高精度のセキュリティ（2/2）

クラウドブリックは、韓国・日本・米国・中国の4ヶ国で特許を取得した自社独自開発した論理演算型解析エンジン（COCEP(COntents Classification and Evaluation Processing)）を搭載し、従来型のシグネチャーベースのWAFサービスの限界を克服し、高精度のセキュリティを提供致します。



- ① 新種・亜種の攻撃の
シグネチャー作成・登録までセキュリティリスク大
- ② WAFサービスを運用する**会社および管理者のセキュリティレベルに依存し、セキュリティ強度が左右される**
- ③ サービス型セキュリティは、**セキュリティ製品としてのグローバル認定等取得できず、証明されていない**



- ① **Web攻撃属性を分析したロジックエンジン**を採用し、
新種・亜種の攻撃パターンにも**包括的に対応可**
- ② 単純比較による検知ではなく**本当の攻撃性の有無まで判断しているため、誤検知率↓**
- ③ **国際認証にて証明されたWAF**としてのセキュリティを
確保し、**管理側のセキュリティレベルに依存しない**
高レベルのセキュリティを安定的に提供可



COCEP (COntents Classification and Evaluation Processing)技術

攻撃検出コンセプト：従来型のパターンマッチング(シグネチャーベース)の方式とは異なる論理演算型解析エンジンによる新種・亜種の攻撃への対応

国際認証：韓国・日本・中国・米国にて検出技術の特許取得 | 国際承認アレンジメント (CCRA) 最高レベルのEAL4取得
ICSA Labs WAF Certification取得 | PCI-DSS v3.1適合証明 (ICSA Labs) |
米Tolly GroupによるWAF Test にて攻撃検出率証明

Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（1/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供致します。



保護対象管理

- cloudbricの保護対象として管理されているWebサイトの一覧およびステータスの確認が確認頂けます。

ダッシュボード

- 保護対象のWebサイトの管理ステータスを確認し、攻撃ターゲットURLチャート、Web攻撃の目的別チャート、攻撃IPアドレスチャートにて有効な情報を閲覧頂けます。

検出履歴

- 不正なアクセスの検出履歴を、様々なフィルタで閲覧できます。

ユーザ設定

- その他、Bypassモードの設定、ブラックリスト及びホワイトリストのIPを設定できます。



Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（2/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供致します。

ダッシュボード

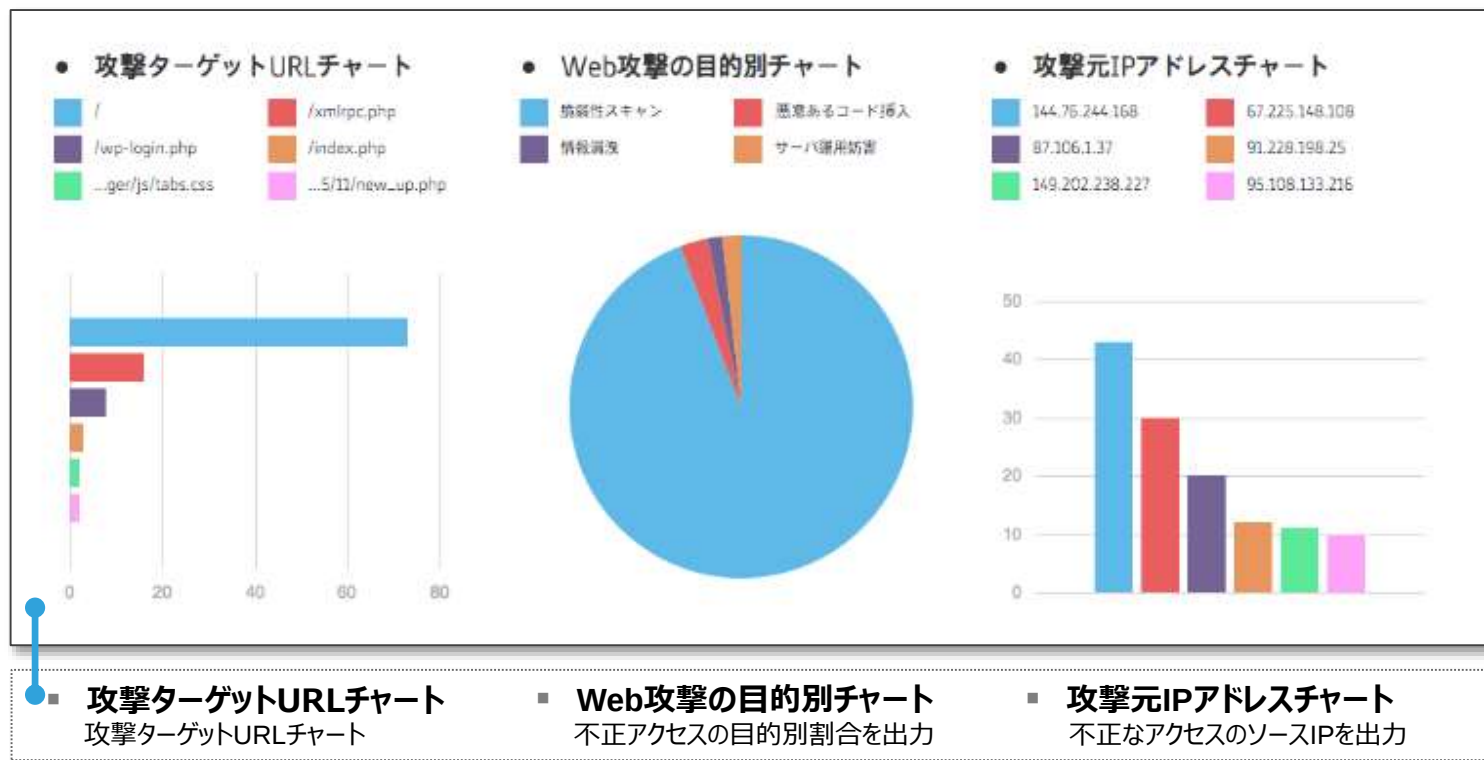


- **閲覧数**
保護対象のWebページをロードする回数
(ページビュー)
- **攻撃数**
閲覧数に対する不正アクセス件数
- **閲覧者数**
保護対象に対し、IP単位のアクセス件数
- **ハッカー**
閲覧者数に対する不正アクセス件数
- **最近の検出ログ（5つ）**
※検出ログは、別途「検出ログ」のタブにて閲覧頂けます。
遮断したアクセスの情報を表示
(時刻、検知ルール名、ソースIP、発信国)
- **累積データ使用率**
累積データ帯域
- **スループット**
一日のトラフィック量

Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（3/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供致します。

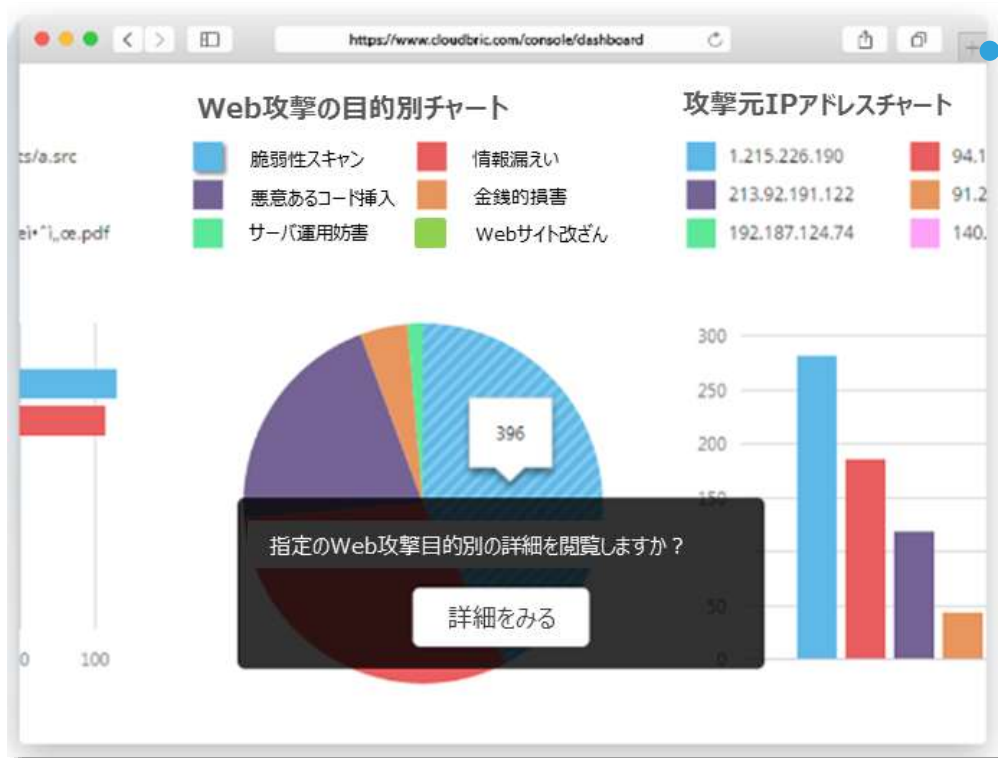
ダッシュボード



Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（4/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供致します。

ダッシュボード



Web攻撃の目的別チャート

ダッシュボードにて

【Web攻撃の目的別チャート】を提供し、ハッカーのアクセスの意図を6つに分類し、表示致します。

▪ **詳細を見る：**「検出履歴」のページにて指定した攻撃目的に絞り込んだ検出ログを確認できます。

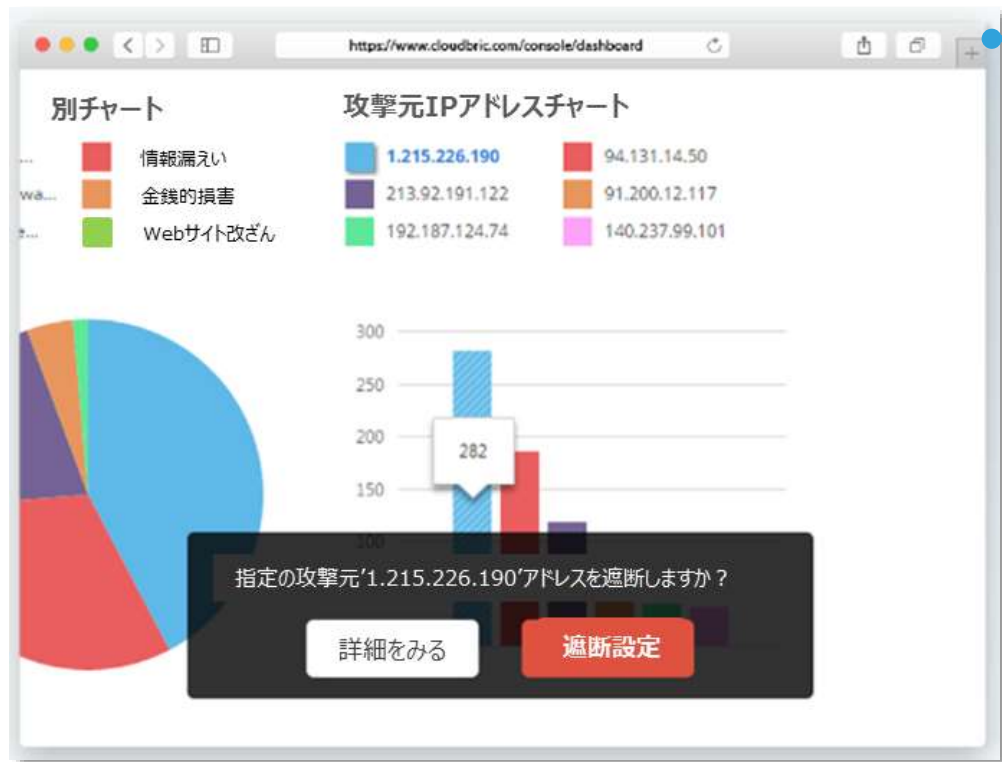
攻撃目的：

- 金銭目的
- サーバ運用妨害
- 脆弱性スキャン
- 悪意あるコード挿入
- Webサイト改ざん
- 情報漏えい

Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（5/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供致します。

ダッシュボード



■ 攻撃元IPアドレスチャート

ダッシュボードにて【攻撃元IPアドレスチャート】を提供し、不正アクセスを行っているIPを把握し、マウス左クリックにて特定IPを遮断できます。

- **詳細を見る**：「検出履歴」のページにて指定したソースに絞り込んで不正アクセスの検出ログを確認できます。
- **遮断設定**：不正アクセスの多いIPに対し、保護対象のWebサイトへのアクセスを一時期遮断することができます。（遮断設定の解除も同様可）

Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（6/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供します。

ダッシュボード



■ Web攻撃発信国

ダッシュボードにて【Web攻撃発信国】を提供し、世界地図にて特定の国からのアクセスを遮断および遮断解除を設定できます。

- **詳細を見る**：「検出履歴」のページにて指定した国に絞り込んで不正アクセスの検出ログを確認できます。
- **遮断設定**：指定した国から保護対象のWebサイトへのアクセスを一時期遮断することができます。
(遮断設定の解除も同様可)

Point6. 直観的なユーザインターフェース提供（7/7）

クラウドブリックは、インターネットが可能な環境であれば、いつでもどこでも管理状況をご確認頂ける、直観的なユーザインターフェースを提供致します。

検出履歴



検出履歴

検出された不正アクセスの履歴を、期間 / 攻撃名 / ソースIPアドレス / 発信国 / URLにてフィルタリングし、確認できます

クラウドブリック・サービスの利用料金のご案内

ご利用料金 – 初期導入費用および月額サービス料金

プラン名		ピーク時 トラフィック	保護対象 Webサイト数※	初期導入費用	月額サービス料金
Economy	Economy Standard	~1Mbps	2	¥68,000	¥28,000
	Economy Plus	~5Mbps	2		¥58,000
Business	Business Standard	~10Mbps	6	¥120,000	¥110,000
	Business Plus	~50Mbps	10		¥130,000
High Performance	High Performance100	~100Mbps	無制限		¥180,000
	High Performance200	~200Mbps	無制限	¥198,000	¥325,000
	High Performance300	~300Mbps	無制限		¥420,000
	High Performance400	~400Mbps	無制限		¥515,000
	High Performance500	~500Mbps	無制限		¥575,000
	High Performance1000	~1Gbps	無制限	¥215,000	¥680,000

※ Economy StandardプランおよびEconomy Plusプランは、1 FQDNを対象にし、HTTPとHTTPSをそれぞれカウントし、保護対象Webサイト数は、2となります。
その他のプランは、HTTPのWebサイトとHTTPSのWebサイトを個別カウントした剛健を意味します。

ご利用料金 – 追加費用等

項目	追加料金
プラン移行時※1	無償
保護対象Webサイトの追加時※2	各プラン別初期導入費用が発生
持ち込み証明書の設定時※3	無償
Let's Encryptの利用時※4	無償

※1 プラン移行時のケース

5月からEconomy Plusを利用中のA商社は、ピーク時トラフィックが8 Mbpsまで出ることが7月確認できており、翌月からBusiness Standardプランへの移行を勧告されています。A商社は、8月からBusiness Standardプランに移行をし、プラン移行のための追加料金は発生せず、8月利用料金は、Economy Plusプランの¥58,000からBusiness Standardプランの¥110,000に変更されます。

※2 保護対象Webサイトの追加時のケース

5月からBusiness Plusプランを利用中のB工業は、5月導入時4つのWebサイトを保護対象として登録し、サービスをうけていました。8月から保護対象を2つ増やすこととなり、7月25日Business Plusプランの初期導入費用の¥120,000を支払し、保護対象の追加を行います。

※3 お客様の持ち込み証明書をご利用される場合は、事前にご提供くださいませ。

※4 cloudbric提供のLet's Encryptは、クライアントとcloudbric間SSLの暗号化通信を確立します。

Cloudbricが実現する 低コストのWebセキュリティ対策

Cloudbricが実現する低コストのWebセキュリティ対策



低コスト①

導入・運用コスト Deployment/Operation

- リーズナブルな価格でWebセキュリティを実現
- セキュリティ・サービスを開始するための手間取る導入作業は不要
- 20年間Webセキュリティを専門としたベンダーによる運用・管理

低コスト②

投資コスト Security Investment

- セキュリティは「コスト」として認識せずに、**ビジネスを守る事業継続性につながる「投資」として認識**
- 「セキュリティへの投資」は、**企業イメージ向上**および**お客様信頼度**につながると認識



■ お問い合わせ



お電話でのお問い合わせ

03 - 5361 - 8201 (平日 10 : 00 ~ 18 : 00)

メールでのお問い合わせ

japan@pentasecurity.com

Webからのお問い合わせ

www.cloudbric.jp



t h a n k y o u

PentaSECURITY

KOREA	Yeouido, Seoul	www.pentasecurity.co.kr (HQ)
U.S.A.	Houston, Texas	www.pentasecurity.com
JAPAN	Shinjuku-Ku, Tokyo	www.pentasecurity.co.jp